

氏名

姓	アツコ
名	中道 敦子

所属	歯学部口腔保健学科 健康増進教育ユニット		
職名	教授		
最終学歴	徳島大学大学院口腔科学教育部	学位	博士（歯学）

専 門 分 野		
教 育 実 績	担当講座名称	単位数 講義時間数 実習時間数 学科・院の別
	口腔保健学概論	2 単位 30.0 時間 時間 学科
	口腔保健教育原論	2 単位 30.0 時間 時間 学科
	発達口腔保健教育原論	2 単位 30.0 時間 時間 学科
	口腔保健支援実習	2.5 単位 時間 40.0 時間 学科
	地域歯科衛生活動演習	4 単位 60.0 時間 時間 院（修士）
大学運営における主な 役職履歴（過去5年間）	地域・多職種連携教育ユニット長、口腔保健学科教務部会長	
研 究 分 野		口腔保健学、健康科学
研究課題	課題名	フレイルの悪循環サイクルにおける筋肉量減少とうま味感受性障害についての基礎的研究 (科研費 (C)19K11647)  健康寿命を短縮させるフレイル（身体の虚弱状態）は、軽微な摂食嚥下障害や身体活動の低下を示すことから、関連する筋肉の衰弱と捉えることができる。本研究では、うま味受容体の感受性障害（うま味味覚障害）が起こると“やせ”を伴うことに着目し、“やせ”を骨格筋量の減少と考え、ヒトでの現象についてうま味感受性と骨格筋量の相関を調べ、うま味感受性との関連を明らかにする。高齢者のフレイルサイクルにおける低栄養を予防する新たな視点を研究の到達目標としている。2018年度より、パイロット研究として「若年女性の痩せと筋肉量およびうま味感受性に関する研究」に係る調査を行っている。
	キーワード (5つまで)	体組成、うま味感受性、筋肉量、口腔機能
	共同研究等の 実績	入院加療に起因するオーラル・フレイルの包括的スクリーニング指標の開発と基礎研究（科研費 (C)17K12071、研究代表者：星野由美)
研 究 業 績 (著書・発表論文等) (主 要 5 編)	1. Takaharu Goto, <u>Atsuko Nakamichi</u> , Megumi Watanabe, Kan Nagao, Miwa Matsuyama, Tetsuo Ichikawa: Influence of food volume per mouthful on chewing and bolus properties, <i>Physiology &amp; Behavior</i> 141:58-62, 2015.	
	2. 中道敦子：一口量を考える：歯科保健指導における食行動変容のための視点，九州歯会誌69(4)：94-102, 2015.	
	3. 中道敦子, 後藤崇晴, 市川哲雄：一口量に注目した食行動評価:YN食行動質問票の有効性, <i>Journal of Oral Health and Biosciences</i> , 17(2).2015.	
	4. <u>Atsuko Nakamichi</u> , Miwa Matsuyama, Tetsuo Ichikawa: Relationship between mouthful volume and number of chews in young Japanese females, <i>Appetite</i> , 83, 327-332, 2014.	
	5. Maya Izumi, Sumio Akifusa*, Yukiko Takahashi, Madoka Funahara, Toshiyuki Tsujisawa, and <u>Atsuko Nakamichi</u> : The Relation of Oral Function(s) and the Levels of Oral Bacteria in Community-Dwelling Older Adults Pilot Study, <i>JOHD</i> , 1(1), 9-14, 2018.	
産学官連携実績 (主要3件)	なし	
産学官連携 可能・希望分野	口腔機能と健康増進（味覚障害と体組成との関連に対する成人の健康維持や高齢者の低栄養予防）	
取得した実用新案特許等 (主要5件)	なし	
所 属 学 会 (主要5件)	日本咀嚼学会, 日本歯科衛生教育学会, 日本歯科医学教育学会, 日本歯科衛生学会, 九州歯科学会	